

2007年10月12日

VOL. 11

とっとり・グローバルウォッチ

とっとり貿易支援センター情報誌

現地発！台湾月刊レポート⑤

台湾人の日本に対するイメージ、認知度

日本に対するイメージは、とてもよい。しかし、地理、歴史を認識しているかというと、問題がある。継続的な、認知度アップを続けるのが方策と思う。

■鳥取は台湾人の脳内地図に存在しない？

「バカ日本地図」と言うのをご存知だろうか。日本人が日本地図を書くというインターネットサイトだ。本にもなった。Amazonの本紹介で著者いわく「鳥取と取鳥、どっちが正しいかわからない」とは遺憾だが…。この地図を見ると脳内イメージ、認知度が良くわかる。

では台湾人は、日本をどう見ているのか。弊社では、日本と台湾の架け橋になることを目的としている。そこでどれだけ日本を知っているか、今年の入社試験として同様の問題を出した。「日本地図を書きなさい。そしてその地図に東京、北海道、新潟、鳥取の場所を記入すること。また特産品を知っていたら書きなさい。」という問題。入社試験を受けたものは70人。四年大学の新卒、あるいは第二新卒である20代の台湾人である。半分以上は、日本留学、旅行経験者、日本語学科の出身である。

しかし、望んでいたとおり迷回答が続出した。残念ながら、鳥取の場所を認識したものは、3名、つまり4%。多いと見るべきか。結果を分析すると地図の特徴として、北海道、東京、九州の位置は、認識している。失礼ながら、東北、中国、山陰、四国

は、台湾人受験者の脳内地図に存在しないらしい。

■台湾人が移民したい、観光したい、立派だと思国、日本。

さて、2007年7月に「遠見（グローバル・ビュー）」が20歳以上の台湾人約1,000人を対象に「世界観」に関するアンケートを行ったところ、3項目で日本が1位になった。今回の調査は、「移民したい国」「観光したい国」「立派だと思国」「留学したい国」をそれぞれ3カ国ずつ選んだ。その結果、「移民したい国」で32.3パーセントで日本が1位となり、次いで米国（29.1%）が2位、カナダ（26.5%）が3位となったのだ。日本が1位に選ばれた理由は、清潔な環境と、和と礼を尊ぶ社会性。

「観光したい国」でも、日本は52.7%の支持を得て1位になった。2位はやはり米国（28.2%）で、3位は中国（17.2%）。また、歴史や文化の重要な国としてフランス、自然が雄大な国でオーストラリアが選ばれている。

さらに、「立派だと思国」でも日本が1位。47.5%と、半数近い人が日本に敬意を持っていることが分かったのだ。こちらも2位が米国、3位が中国で、4位には韓国が選ばれた。（毎日新聞より一部抜粋 6月30日）

私は、台湾のすべてを知っているわけではないが、7年間で感じたことを申し上げたい。

■台湾は、親日であるか？

答えは、Yes。間違いはない。

■観光で、日本に行きたいか？

答えは、Yes。中高齢者にとっては、日本統治時代のこともあり「一番行ってみたい国」である。しかし若年層にとっては、日本は、欧米と同一か下である。一番ではなく実は「まあ、一度は行ってみたい国」である。

目次

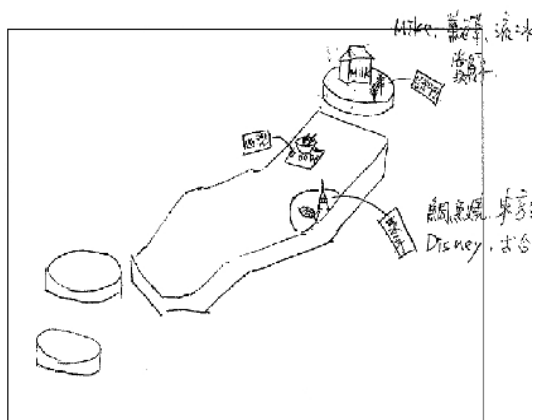
現地発！	P 1
台湾月刊レポート⑤	P 2
県内企業7社が「JAPANフェアin広州」に挑戦	P 2
モンゴル最新情報	P 3
幸運で幸せな国、ニュージーランド	P 4
台湾展開をされる方へ ご注意	P 5
編集後記	P 5

世界の祝日～11月～

■フィリピン	1日	万聖節
	2日	特別休日
■マレーシア	8日	ヒズバー灯明祭
■シンガポール	8日	ヒズバー灯明祭(予定)
■ロシア	4日	国民統一の日
■アメリカ	12日	退役軍人の日
	22日	感謝祭
■カナダ	12日	戦没者追悼日
■イタリア	1日	万聖節
■フランス	1日	万聖節
	11日	第一次世界大戦休戦記念日

出所：ジェトロ通商弘報
「世界の祝祭日2007年版」から

英語表示出下列地理位置：東京、北海道、新潟、鳥取、及您新在該日本特産・風景・地誌。



回答例で多かったパターン。東京は認識しているが他地域はあやふや。

<次ページへ続く>

■日本のどこに行きたいか？

東京がやはりダントツ。遊べる、且ついろいろなものを買えるから。観光は、次の言葉がキーワード。紅葉、雪、平らな大地。そして蟹や松阪牛を食べたい。ほぼあてはまる北海道は、台湾人にとって魅力的なのだ。

■余談だが、なぜ松阪牛か？

それは、現レッドソックスの松坂投手にワールドクラシックベースボールでやられたからだ。そのときの応援が「松坂(発音が同じ)牛肉を食っちゃまえ！」そして、松阪牛は有名になった。広告効果が高かったというべきか。

■それ以外の日本に観光したいか？

これは、Yesであり、Noでもある。なぜなら「その他の場所は知らない。」ということに尽きる。台湾旅行会社は、自分たちが儲かるルートしか旅程を設定しない。息のかかったバス会社、お土産店、そして全てがリベートのために動く。リベートがなければ、パックスツアーを造成しない。台湾では、驚くことに有線テレビで、NHKばかりか、民放の番組を見ることができる。「どっちの料理ショー」では、地方の名産品を知り、温泉旅行番組では、日本の温泉に入ることを想像し、「ポチたまのまさお君」を見ては、テレビの中で、日本の地方を一緒に歩き回る。しかし致命的なのは、ドコがドコか判らないことだ。

■インターネット広告で“鳥取”をPRできる

では、どうするか。それは、台湾人に対する継続的広告・教育投資であろう。見たことがないものは、想像できない。食べたことがないことも想像できない。年一回の打上花火大会のみで、忘却曲線を描かせるのではなく、日常に組み込むこと。記憶に定住させること。

例えば、インターネットであるキーワードを入れると、毎回、鳥取のことが出てくることでも良い。多額の費用も必要ない。台湾新聞広告での市場調査にて二ヶ月にわたり一千万円弱の出稿を出したが、サンプルが数千しか集まらないとの相談がきた。そこであるインターネットの手法を用いたところ、5日間、費用百万円弱にて、5,000あまりのサンプルを取ることに成功した。低コストにもかかわらず何人の台湾人がこの広告を見たことになるか。知恵を使えば、まだまだできることがある。例えば、前回の漫画の話も含め、台湾テレビに放映された鳥取関連を組み合わせた広告、物産も同様にサンプルをストックし、いつでも提供できるような仕組みを作れば良い。

バカ日本地図：http://www.chakuriki.net/japan/
バカ日本地図(単行本) 出版社：技術評論社(2004/09)
遠見のサイト：http://www.gvm.com.tw/

【株スナーク 富田】

鳥取県台湾コーディネーター富田恭敏氏については、本誌第8号(2ページ)をご覧ください。

鳥取県産業振興機構海外支援部を窓口、県内企業の皆様からの簡単なお問合せに対応いたします。

また、商談斡旋依頼や実務的な情報提供などの具体的な案件についても、当財団取次ぎの上、個別に当該相談依頼者と契約できます。

【お問合せ】
海外支援部(担当：早川、中江)
電話：0857-52-6735 FAX：0857-52-6782

県内企業7社が「JAPANフェアin広州」に挑戦！

平成19年9月15日(土)～18日(火)、中国広州市で開催された第4回中国国際中小企業博覧会の中のメイン事業である「JAPANフェアin広州」に、当財団の出展支援を受け、鳥取県内企業7社が出展し、中国広東市場に果敢に挑戦した。

■中国の経済産業中心地広州で初出展

各出展企業とも広東地区の博覧会に出展するのは初めてで、中国経済発展の牽引的存在である広州市での博覧会出展等を通じ、最新の中国経済動向や、市場の可能性を探ることができた。

今回の「JAPANフェアin広州」には458の企業・団体が出展し、会期中は30万人を越す来場者があった。当財団ブースにも連日多くの人々が訪れ、出展企業からは、「来場者に興味を持ってもらえ、手応えを感じた」「中国市場での反応に満足」などの声をいただき、広東地区が有望な販路開拓先であることを改めて認識できた。

■「Japanフェア in 広州」の概要

会 期 2007年9月15日(土)～18日(火)
会 場 中国広東省広州市 広州国際会議展覧中心
来場者数 中国、日本ほかから30.5万人

<当財団出展概要>

企業(順不同)		主な出展商品
サンライズ工業(株)	鳥取市	アンカーボルト
(株)田中製作所	鳥取市	金属プレス部品
(株)日本マイクロシステム	米子市	基板検査機
ニッパ(株)	大山町	ペットフィルムセパレーター
日本セラミック(株)	鳥取市	赤外線センサー
(有)澤井珈琲	米子市	氷温アイスコーヒー
千代むすび酒造(株)	境港市	日本酒



【当財団ブースの様子】試飲への人だかり

【(財)鳥取県産業振興機構海外支援部 早川】

モンゴル最新情報

～県国際交流員のレポート～

相撲を通じた日本とモンゴルの関係

■モンゴルでは「日本＝相撲」

モンゴル人が「日本」と聞くと、まず相撲の力士が頭に浮かぶ。モンゴルでは日本の大相撲が大人気で、小さい子供からお年寄りまで各場所をテレビ中継で見ている。これは、モンゴル人の“モンゴル相撲”好きと深い関わりがあるからに違いない。また、日本の大相撲の横綱が2人もモンゴル人であり、他にも沢山のモンゴル人力士が活躍しているからであろう。

これによって、日本の文化や言葉がモンゴル人に知られるようになったり、日本語そのものが直接モンゴル語に外来語として入ってきたりしている。例えば、“つっぱり”“寄り切り”“〇〇場所”“まわし”など相撲と関係のある言葉がそのまま使われているのである。

■増える日系企業

逆に、日本相撲で活躍中のモンゴル人のお陰で、日本でもモンゴルがある程度知られるようになり、草原だけのイメージは変わりつつある。町の生活も紹介され、日本の企業に興味を持たれるようになっていく。モンゴルの総人口の260万人のうち100万人が集中するウランバートル市では特に、モンゴル政府の規制が緩やかなので、外国企業が増えている。



ウランバートル市内の様子

例えば、日本人が経営するホテル、日本料理屋、IT企業、富士フィルムのウランバートル支店、鉱山、建設会社、観光会社等々がモンゴルに進出をしている。

ある日本企業は、モンゴルを訪れる観光客の90%を日本人が占めているのに日本人向けのサービスの良いホテルがモンゴルではまだまだ足りないという点に目をつけ、ホテルを経営をしている。

また、日本人の好みは日本人でないとは分からないということで、観光会社を営む日本企業も少なくない。

■外資系企業進出による発展

モンゴルは、1990年に社会主義体制から民主主義体制への体制転換を果たし、市場経済への移行の下、開発を進めている。転換後、現在に至るまでは約15年間、様々な問題を抱えながら、積極的に民主主義を推進してきた。更には、外国からの支援、投資、援助を受け、外国企業の進出も民主主義の発展に大きな役割を果たしている。その中でも、日本は、モンゴルにとって主要援助国である。

■モンゴルで“日本料理”

日本料理は世界的に健康的なイメージを持たれているせいか、あまり野菜を食べないモンゴル人は日本料理に注目している。また、最近、日本で留学や仕事の経験があるモンゴル人たちは、モンゴルに帰国すると日本料理が恋しくなり、日本料理屋によく行っている。

■減り続ける遊牧民

モンゴルの遊牧民数が年々少なくなるとともに、遊牧民の都市への移住が増え、マンションなど住宅の建築が進んでいる。建設会社としては中国の会社が多いが、日本人の作った建物は丈夫でデザインも良いと人気を呼んでいる。

プロフィール

モロムジャムツ・ビャンバジャルガル
(Molomjamts BYAMBAJARGAL)

- ・モンゴル国ウランバートル市出身
- ・2001年7月
モンゴル国立大学日本語学科卒業
- ・2001年8月
モンゴル国「JUULCHIN」観光会社でガイド
- ・2004年8月～現在
鳥取県交流員



【文、写真：県文化観光局交流推進課国際交流員
モロムジャムツ・ビャンバジャルガル】

ジェトロ鳥取からお知らせ

海外経済セミナー のご案内

アジア産業クラスター政策の経験 ：鳥取への教訓

鳥取県の今後の産業クラスター政策の在り方を提言します。この機会にぜひ、ご参加ください。

- 日時：2007年10月15日
14：00～16：00
- 場所：鳥取県立図書館2階
小研修室
- 講師：日本貿易振興機構
理事 朽木昭文
- 主催：ジェトロ鳥取
- 詳細はこちら：
<http://www.jetro.go.jp/jetro/offices/japan/tottori/events/20070918527-event>
- お問合せ先：
ジェトロ鳥取
電話 0857-52-4335

体験型貿易実務セミナー のご案内

ジェトロは、業務にすぐに役立つ知識が得られる「体験型貿易実務セミナー」を開催します。座学だけの講座とは異なり、受講者の主体的な参加を重視します。

- 日時：2007年11月5日、6日
10：00～17：00
- 場所：国際ファミリープラザ3階
(米子市加茂町2丁目180番地)
- 申込締切：2007年10月26日
- 定員：24名（先着順）
- 参加費：一般6,000円
※ジェトロメンバーズ4,000円
- 詳細はこちら：
<http://www.jetro.go.jp/jetro/offices/japan/tottori/events/20070914146-event>
- お問合せ：
ジェトロ鳥取（志牟田）
電話 0857-52-4335

幸運で幸せな国、ニュージーランド

以前、ジェトロ鳥取事務所に勤務されていた、ジェトロ・オークランド事務所の鈴木所長よりお便りをいただきました。

鳥取を離れて早くも3年半が経過する。筆者にとって鳥取は数々の赴任地のなかでも格別印象深いところだ。昨年2006年5月よりニュージーランドに赴任しているが、鳥取とニュージーランドは共通している点が多いことに驚いた。まず海あり山ありで美しい自然の景観に富んでいる。農業国であり、一次産品を生産・輸出して国の収入にしていること、地産地消を実践していること、そして温泉が豊富であることである。

■800頭の牛を2人で世話

ニュージーランドを一言で表現すれば、幸運で幸せな国 (A lucky and happy country) と言えよう。一次産品中心の産業だけで先進国の仲間入りをしている国は極めて少ない。なぜ人口415万人の小国がここまで来たかを見てみよう。

まず世界の競争力を持つ酪農がある。800頭の牛をたった2人で世話をしている牧場をみてびっくりした。グラスフェッドと呼ばれる草しか食べない乳牛が放牧されているため、手間もコストもかからない。気候が温暖だから牛舎も要らないし、雨は1年を通して適度に降るため牧草に水をやる心配がない。飼料を与えないから、飼料代が要らないし、何より安全である。しかも近年中国などで食の西洋化が大いに進み、粉乳、バター、チーズなど乳製品の輸出が急激に伸びている。ここ5年間で乳製品の対中国輸出はほぼ2倍を記録した。

■鬼太郎も来た

また映画産業が活況を呈している。米国をはじめ多くの海外プロダクションはロケ地として大自然が残っているニュージーランドを選ぶ。ニュージーランド出身のピーター・ジャクソンが監督した映画「ロード・オブ・ザ・リング」は当地で撮影された。また「ラスト・サムライ」に出てくる富士山にそっくりの山は北島にあるタラナキ山である。ゲゲゲの鬼太郎の映画も撮影が行われた。撮影が行われるとフィルム作成やDVD作成などいわゆるポスト・プロダクションといわれる関連産業も潤う。今や映画・映像産業の総売上高はラジアタ・パインを中心とする林業、園芸・果樹産業に匹敵する規模に成長した。

■アジアの仲間入り

さらに最近では英国との関係よりもアジア重視を打ち出し、ASEAN+6カ国（日本、中国、韓国、インド、オーストラリアそしてニュージーランド）に加わったことによりアジアの国々との関係がますます緊密化している。とくにASEAN+6カ国にニュージーランドが参加することを支持した日本との関係を重視しようとする積極的である。

■ワーキング・ホリデーで生活体験

素晴らしいと思うのは、世界中の人々が年齢層を問わず、訪問あるいは定住していることである。いわゆる語学留学に加え、親子留学の小学生から、中学生、高校生の留学などに人気がある。語学産業が大きな稼ぎの1つになっていることは羨ましいかぎりである。

画期的なのはワーキング・ホリデーという1年間働きながら滞在するという制度を利用して世界中の若者が実際に生活していることである。退職後に過ごすところとして、年配の方々にも相変わらず人気である。なぜだろうか。政治的に安定していること、治安がよいことのほか、何より英語圏であることだ。英国、米国はもとより政治的な理由から南アフリカ、香港からの移民のほか、近年では中国、韓国などからの移民が増加している。



オークランド大学に隣接するクリーン&グリーンのアルバート公園

■クリーン&グリーン

加えてニュージーランドはイメージ戦略が成功している。クリーン&グリーン (Clean & Green) を標榜し、ニュージーランドの乳製品、野菜、果物は安全で安心という評価を得て、キウイ・フルーツなど輸出産業は好調であり、また、空気も水も綺麗だから人々を魅了し観光客は増加している。

グローバリゼーションの時代に、いかに人を引き付ける魅力を打ち出していけるか、世界大での地域間の知恵比べの時代に突入した。

ニュージーランドの概況

名前：New Zealand
面積：267,707平方キロメートル（日本の約4分の3）
人口：409万2,900人（2005年6月推定）
首都：ウェリントン
言語：英語、マオリ語（公用語）

【ジェトロ・オークランド事務所 所長 鈴木孝平
2000年4月～2003年3月までジェトロ鳥取事務所に勤務】

台湾展開をされる方へご注意

原産地や飽和・トランス脂肪酸の表示義務化 ～08年1月から、輸入食品も対象～

2008年1月1日以降に製造される食品は、原産地のほか飽和脂肪酸とトランス脂肪酸の含有量の表示が義務付けられる。輸入食品に対しても同様に適用される。

■原産地表示の文字は縦横2ミリ以上に

容器入りもしくは包装された食品について原産地の表示を義務付ける公告（行政院衛生署が6月13日発表）が、08年1月1日から施行される。同日以降に製造される食品が対象となる。衛生署担当者によると、輸入食品に対しても同様に適用されることになる。

主な公告内容は以下のとおり。

- (1) 08年1月1日以降に製造される容器入りもしくは包装された食品は、原産地の表示が義務付けられる。
- (2) 原産地は、中国語で見やすく表示しなければならない。ただし、中国語で表示された製造者およびその住所から原産地が明らかである場合は、この限りでない。
- (3) 原産地を表示する文字の大きさは、縦幅と横幅が2ミリメートル以上であること。
- (4) 輸入食品の原産地については、「進口貨物原産地認定基準」に基づいて判断する。
- (5) 07年12月31日までに在庫の包装材を使いきれない場合、在庫量および使用を終える予定日を11月30日までに組合団体を通じて衛生局に報告することが求められる。ただし本公告では、当該報告が継続使用の要件となるかについて言及していない。

■脂肪酸はグラムで表示

食品の栄養表示について規定した「市售包装食品栄養表示規範」の改正に関する公告（衛生署が7月19日発表）も08年1月1日から施行される。同日以降に製造さ

れる食品が対象になり、輸入食品に対しても同様に適用される。

主な変更点は以下のとおり。

- (1) 08年1月1日以降に製造される食品は、既に表示が義務付けられている5種類の栄養成分（熱量、タンパク質、脂肪、糖質、ナトリウム）に加え、飽和脂肪酸、トランス脂肪酸の表示が義務付けられる。
- (2) トランス脂肪酸とは、食用油の水素添加過程で形成される非共役型トランス脂肪酸を指す。
- (3) 含有量はグラムで表示する。1日当たりの摂取基準量に対する百分率で表示する場合は、トランス脂肪酸の表示は不要。
- (4) トランス脂肪酸の含有量が、100グラムもしくは100ミリリットル当たり0.3グラムを超えない場合は、0グラムと表示することが可能。
- (5) 乳児用、医療用の特殊栄養食品については別規定に基づくため、本規定の対象外。
- (6) 07年12月31日までに在庫の包装材を使いきれない場合、在庫量および使用を終える予定日を11月30日までに組合団体を通じて衛生局に報告することが求められる。ただし本公告では、当該報告が継続使用の要件となるかについて言及していない。

今回の改正事項ではないが、(3)に関連して飽和脂肪酸の1日当たりの摂取基準量は18グラムと定められている。また(4)に関連して、飽和脂肪酸の含有量が100グラムもしくは100ミリリットル当たり0.1グラムを超えない場合は、0グラムと表示することが可能と定められている。

出所：ジェットロ Food&Agriculture No. 2655号

【ジェットロ鳥取 志牟田】

編集後記

北京は来年2008年のオリンピック開催を控え、現在どこもかしこも工事中です。高層ビルの建設や地下鉄の路線増など、工事は昼夜を問わず急ピッチで進められています。

北京にはたくさんの世界遺産がありますが、これらの観光地も例外ではありません。天壇公園、頤和園、故宮博

物院など、北京を訪れた観光客が必ず行くであろう場所はほぼ全て、改修工事が行われています。

これらの工事もオリンピックまでには終了していると思うので、来年の夏から秋にかけて北京を訪れたら、最高の世界遺産めぐりができるかもしれません。【那】

『とっとり・グローバルウォッチ』では、皆様から、内容のご提案や掲載されている情報へのご意見・ご感想をお待ちしております。メールでお気軽にお寄せください。また、受信希望(無料)の方は下記までご連絡ください。

お問い合わせ：(財)鳥取県産業振興機構海外支援部（担当：早川）

E-mail: kaigai@toriton.or.jp TEL: 0857-52-6735

<http://toriton.or.jp/toriton-cgi/wnew3/disp.cgi?sub=1&cate=9&ind=1>

とっとり貿易支援センター 貿易に関する相談はこちらの窓口へ

【東部窓口】

■(財)鳥取県産業振興機構海外支援部

TEL 0857-52-6738

■ジェットロ鳥取貿易情報センター

TEL 0857-52-4335

【西部窓口】

■(株)さかいみなと貿易センター

TEL 0859-47-3900

■境港貿易振興会

TEL 0859-47-3905

【その他関係機関】

■境港管理組合台湾管理委員会事務局

TEL 0859-42-3705

■ジェットロ貿易相談デスク

TEL 0859-45-2203

■鳥取県商工労働部産業開発課

TEL 0857-26-7243